

リハマネジメント研修会



開催日：令和5年1月14日（土）

会場：オンライン開催

参加者数：24名

研修認定委員会より

本研修会は、令和3・4年度は、当会監修の「通所リハにおけるリハビリテーションマネジメント実践マニュアル」に沿って、研修会を進めています。研修会の内容は、リハマネジメントについての総論に始まり、情報収集の方法、リハビリテーション会議をもとに計画立案、そしてLIFEの活用といずれも通所リハ運営には必要なものとなっています。さらに、講義に加えて、参加者の日頃の悩みを解決できるグループワークも企画しています。

リハマネジメントとは
様々な場面を想定した情報収集の方法
リハビリテーション会議をもとにした効果的な計画立案
LIFEの活用
課題共有と解決方法の検討

リハマネジメント 研修会

2023.1.14 SAT 09:30
15:30

【開催方法】	【受講費】
オンライン開催	〈本研修会のみ〉
【定員】	会員：8,000円（税込）
50名（定員になり次第締め切り）	非会員：13,000円（税込）
【申込方法】	〈本研修会＋状態・疾患別プログラム研修会〉
QRコード、または協会HPよりお申し込み ください。※詳細は裏面参照	会員：12,000円（税込）
	非会員：22,000円（税込）

● 資料として「通所リハにおけるリハビリテーションマネジメント実践マニュアル（2021年6月発行・定価4,400円 税込）」をお送りします。
● 上記書籍を既にお持ちの場合は3,000円引きで受講になります。

 一般社団法人 全国デイ・ケア協会

リハマネジメント加算と機能改善の関係

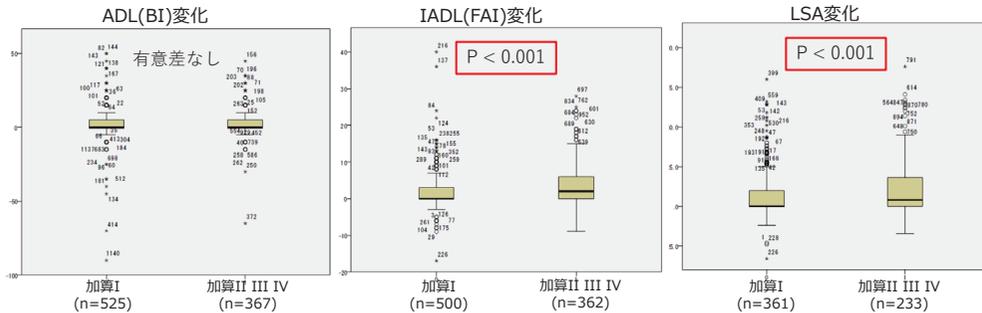
- リハマネ加算Ⅱ～Ⅳを算定する利用者は、それ以外の者と比較し、リハ開始時から6ヶ月後、手段的日常生活動作（IADL）と活動範囲（LSA*）が有意に改善している。

※LSA: Life-Space Assessment（個人の生活の空間的な広がりにおける移動を評価する指標）

利用開始時から6ヶ月後のADL, IADL, LSA変化とリハマネ加算算定との関係

	ADL(BI)変化	IADL(FAI)変化	LSA変化
リハマネ加算Ⅰ	2.80 ± 10.6	2.18 ± 4.89	7.1 ± 14.6
リハマネ加算Ⅱ III IV	3.41 ± 8.60	3.79 ± 5.48	11.5 ± 16.9

平均値 ± 標準偏差 ADLはBarthel Index, IADLはFAI(Frenchay Activities Index)を指標として使用。



(出典) 通所・訪問リハビリテーションの目的を踏まえた在り方に関する調査研究事業（令和元年度調査）のデータをもとに老人保健課で集計

第180回 社会保障審議会介護給付費分科会（令和2年7月20日）資料

情報を取る（もらう）だけでなく
入り口で大切な説明も加える

- ・ 心身機能面へのアプローチに偏らないように、地域社会への参加や、役割の創出といった目標が掲げられるよう本人・家族や関わる各職種に対し、リハビリテーションの本来の意味を伝える機会を確保することが理想。

リハビリテーションとは？
マッサージとの違いは？
目標を明確にするためには？
なぜ修了（卒業）があるの？



リハビリテーション会議とアセスメントの視点

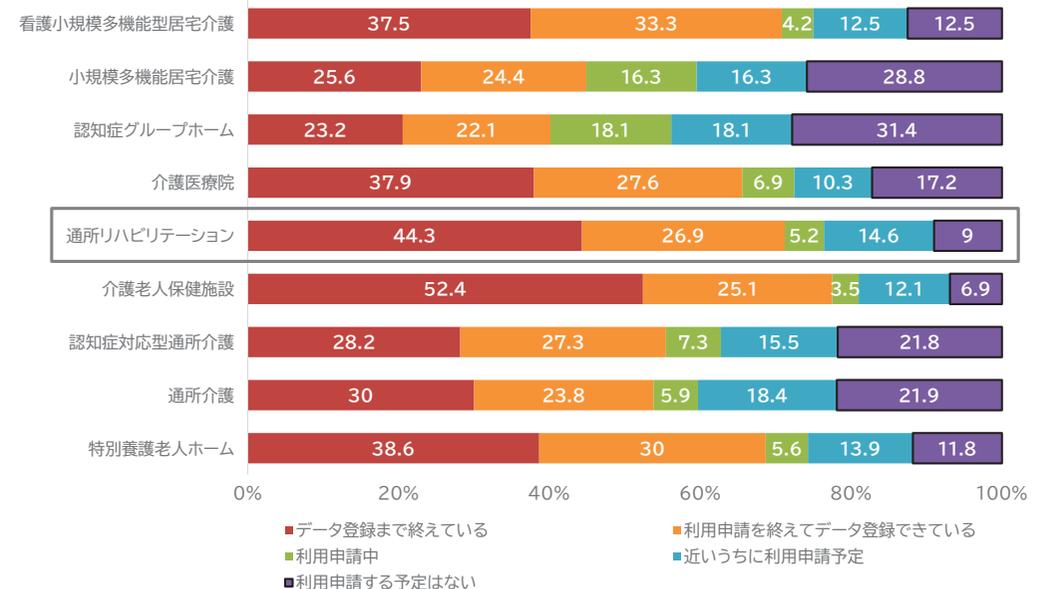
■ 主なアセスメント項目

- 身体機能
- 居宅での生活動作
- 外出状況などの生活範囲
- 家族負担
- 他サービスの必要性 etc.

point !

- 他事業所との連携をとる場としてリハビリテーション会議を活用
- 他事業所からの情報を直接得ることで、より詳細なアセスメントが可能
- 活動と参加につながる計画を立案するため利用時間以外の評価が大切
- 他サービス事業所との連携、目標共有やプログラム共有は不可欠

LIFEの利用状況



出典:独立行政法人福祉医療機構(WAM NET) 令和3年度介護報酬改定に関するアンケート結果(R3/11/17)